

仕事とは何か・何のために働くのか

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

経済団体の中に、栃木県経済同友会という団体があります。そこに、中学校と高校の生徒さんを対象に無料で出張授業を行うプログラムがあり、学校から依頼を受けると時間の空いているメンバーがそこで授業をします。今週は私が担当で、2月6日の木曜日には栃木県鹿沼市立北中学校で1年生を対象に出張授業を行いました。また、本日2月8日の9時40分から11時15分までは、栃木県足利市立富田中学校で1年生に向けた授業を行う予定です。

そこで今回は、2つの出張授業の内容を参考までに紹介させていただきます。

2. 今まで出張授業に出掛けていた学校からは、「働くことの意義」や「社会人としての心構え」を話してくださいという要望が多かったです。2つの中学校も同様に、働くことの意義・大切さや社会人としての心構え、特に社会に出て働くことの意味について話してほしいとのことでした。

3. どちらも1年生の皆さんが対象ですので、わかりやすいお話ができればという思いで準備をしました。そして、「仕事とは何か」という内容から入ることにしました。

仕事とは、お客様の困っている問題を解決することです。世の中には同じような問題を抱えているお客様がたくさんいますので、お客様の困っている問題を解決することで世の中の役に立つことが仕事です。

4. 具体例を示します。私はバスによく乗ります。そうしないと、歩いていけない遠い場所にはたどり着けないからです。バスに乗らないとその場所にはたどり着けないという私の困っている問題を解決してくれるのが、バス会社やその運転手さんです。これが仕事です。また、世の中には私と同じような状況の人がたくさんいますので、バス会社や運転手さんはその人たちの問題を解決することで世の中の役に立っています。これが仕事です。

このようなお話、つまりバス会社や運転手さんの仕事は社会の役に立っているのだという話をしますと、中学生や高校生の皆さんは「ああ、そうなのか」と思ってくださいます。

5. タクシー会社やその運転手さんも同じですね。タクシーもお客様を特定の場所から場所まで連れて行ってくれますので、自分で行けない場合に非常に助かります。同様の問題を抱えた人はたくさんいますので、タクシー会社や運転手さんは一人ひとりのお客様を助けることで、社会の問題の解決にも役に立っています。

これが仕事だよと説明すると、全部を納得してくれたかどうかはわかりませんが、「そういう考え方もあるかもしれない」と思ってくださいるようです。

6. また、仕事をするのは生活できるだけの収入を得るためであるともお話しします。収入は多いに越したことはありませんが、そんなに多くなくても家族全員分の収入を合わせて生活できればよいのではないかと思います。家族は支え合う必要がありますので、みんなで生活できるだけの収入を得られればよいなということをお話させていただいています。

7. ただ、仕事は漫然と職場に行っただけではできません。仕事の中身を覚えたり勉強したりした結果、よい仕事ができるのです。よく学び、それを継続することで、仕事に深みが出、また、新しい仕事生まれます。ですから、仕事は自己実現、ひいてはよく生きることにつながるとも言えます。

例えば、仕事を通じて自分のやりたいことができる・お客様に感謝していただくと、生きていてよかったと思えるなどといったことが、仕事をする意義であると考えます。

8. まとめると、「何のために働くのか」の答えは3つです。1つは、お客様の役に立つため、それを通じて社会の役に立つためです。2つ目は、生活できるための収入を得るためです。これは家族で全員分の収入を得られればよいのです。3つ目は、自己実現をし、よく生きるためです。今までの職場を辞めて別の職場に移ったとき・同じ会社でも違う部署に異動になった場合などには、新しい仕事について勉強しなければなりません。勉強すればするほど素晴らしい仕事ができ、それによって自己実現してよく生きることが出来ます。

よく学び、学び続けることで、人は何回も生きることが出来るということばがあり、私もその通りだと思っています。

9. このような話を中学生にしています。拙い話ですが、わかってくれることがあります。放送をお聴きの皆さんも、身近に中学生がいらっしゃったら、仕事とは何か・社会で働くことの意味などを話してあげてください。よろしくお願い致します。